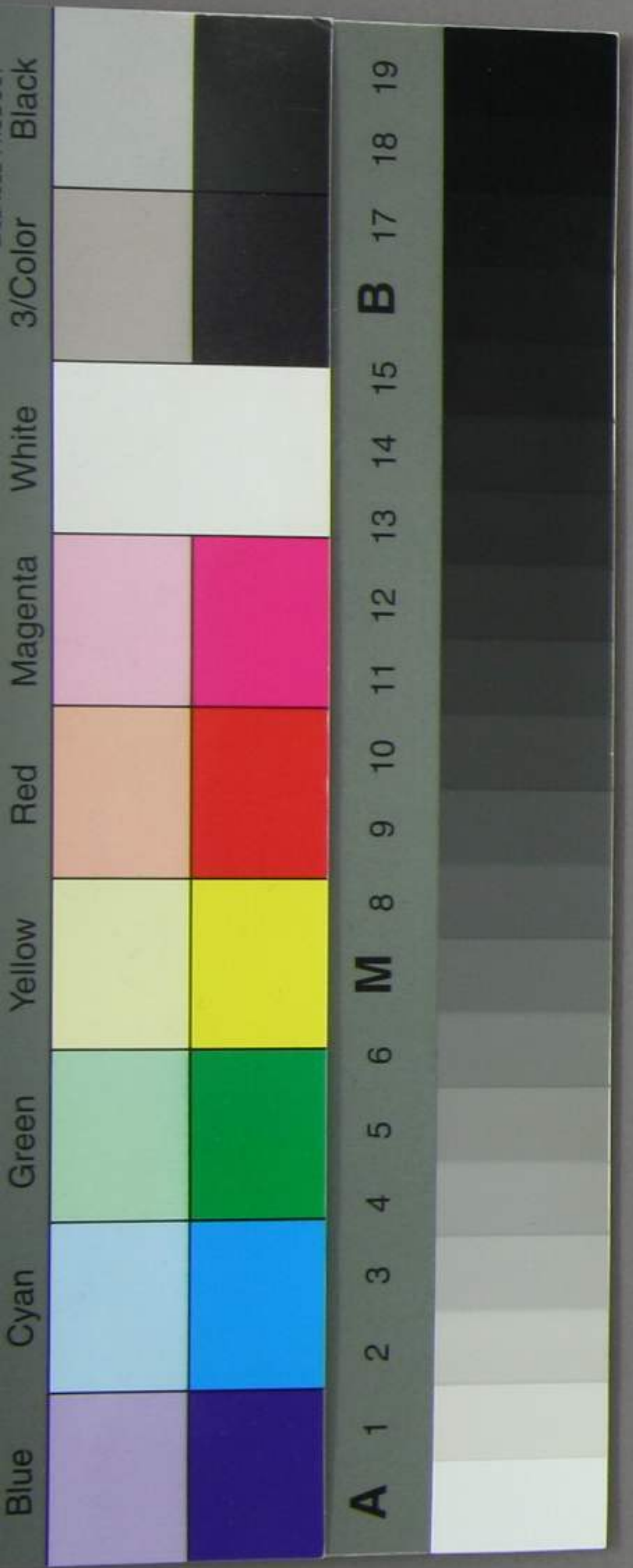


114
A 4715



は福備民P名中... 福... 建... 孫...
天正十一年四月

夫國家ヲ治ムル邦土ノ廣狹國力ノ均量ヲ知ルニ
非ハ治道廟算何ヲ以テ一定確立スルヲ得ヤ抑
古昔聖賢ノ史籍ヲ編成スル地理ニ至テハ質實慎
重之レヲ記シ海外各國ノ如キ邦土山川ノ位置鳥獸
草木ノ種類ヨリ人口戶籍千百產物等ニ至ルマテ
精覈陳述明カナラサル無ク具ハラサル無シ故ニ三尺
ノ童子ト雖モ邦土國力ノ廣狹均量明知セサルナシ
滿清ノ如キ國勢不振久ト雖モ尚大清一統志アリ



蓋シ地理ノ圖書タル史書中ノ第一ニシテ國家ヲ
治ル最要ノ書ト云フヘシ然レモ我

國朝人民ノ風習古來之レヲ度外ニ附シ僅ニ寸壤尺
地ノ野書稗藉ヲ存シテ未タ全國地誌ノ備具スル
モノアラサルヨリ國民海内ノ地理ニ至テハ之レヲ高
閣ニ束子テ敢テ顧ミス偶々之レヲ知ルモノアリト
雖モ漢籍ニ僻シテ唐土ヲ按シ洋學ニ偏シテ太
西ヲ察シ甚シフシテハ自國目前ノ地理ヲ海外萬

里ノ外人ニ質シ却テ外人ノ譏リヲ招クニ至ル是レ
學者讀書ノ流弊ト雖モ亦童年習讀スヘキ書ナキ
ニヨリ僅ニ我國地ノ如キ其形勢ヲ知ル能ワス是皆
皇國地理ノ全誌備具セサルニ由ルト云フヘシ或ハ地
境界未タ確定ニ至ラス所屬ノ島嶼未タ明瞭ニ至ラ
サル如キハ地理圖誌ノ確證トスルモノ無キヲ以テニアラ
スヤ是レ洵ニ皇國ノ一欠典ニシテ千載ノ遺憾ト云フヘシ
且夫レ全國ヲ治ルハ猶一家ヲ治ルカ如シ若シ一家ノ

主者土地家屋ノ廣狹ヲ知ラス四維陰陽ノ向背ヲ知
ラス季候寒暄ノ淺深ヲ知ラス肥瘠險易ノ區別ヲ
知ラス財産ノ貧富風俗ノ儉奢ヲ知ラスシテハ産ヲ
破リ家ヲ失ハサルモノ蓋シ鮮シ故ニ國家ヲ治ル者
邦土ノ廣狹ヨリ凡ソ地理上百般ノ事ヲ了知セスシ
テ國力暢達貨産富充ヲ求ムルモ豈其レ之ヲ得ヘ
ケンヤ地理精覈シ人口檢定シ戶籍條立シ物産詳
載シ然ル後一歳出入ノ定額以テ總算スフク随テ全

國ノ均量測知スフク於是内外ノ政体以テ確立ス
ヘシ然ラハ地理ノ圖誌ヲ具載總記シ一大集成スル
ハ實ニ改路ノ要機ニシテ百度維新文物更始ノ際
首トシテ從事スヘキ急務ト云フヘシ然リト雖モ千有
餘年来荒唐杜撰ニ附スルモノヲシテ一旦之レヲ精
細詳密ナラシムル固ヨリ小著作ノ比ニ非スシテ抑
至難ノ一大舉ト云フヘシ故ニ其舉タル

勅裁ニ出テ廣ク天下ノ圖籍ヲ集メ普ク四方ノ

學士ヲ招キ之レラ

欽定シ然ル後以テ大成スヘシ若シ幸ニ此議ヲ可トシ
准允ヲ賜ハ、凡ソ此一大盛舉ヲ興スヘキ目的ノ詳
細ヲ具備シテ追奏スヘキナリ仍テ其体裁ノ大畧ヲ
草案シ謹テ之ヲ附進ス其可否ノ如キ速ニ決裁アラ
シテ之ヲ乞フ

大日本地理圖誌

全國地圖ヲ挿入スヘシ

括言

大日本ハ亞西亞ノ一部分ニシテ東ニ在ルモノ、樺
太蝦夷ト云ヒ西ニアルモノ、九州ト云ヒ南ニアル
モノ、何ト云ヒ北ニアルモノ、何ト云ヒ其中間ニ在ル
モノ、中國上國ト云フ之ヲ分ツテ五畿八道
ト云フ部落ノ區畫ヲ詳悉記載スヘシ

地勢	土壤ノ高低山脉ノ起伏ヲ概記スヘシ
度數	東經何度西經何度南緯何度北緯何度ト位置ノ度ヲ記スヘシ
周圍	何里
直徑	西東何里南北何里
境界	樺太ノ如キ他日確定ノ日ヲ待テ揭示スヘシ
國數	何ヶ國
都府	總數

藩縣	同
郡村	同
城郭	同
市街	同
林園	同
原野	同
牧場	同
田圃	同

輸出	輸入	埔頭	港灣	沙洲	島嶼	堤塘	渡場
同	總額	同	同	同	同	同	同

民部省

槁梁	沼澤	湖池	河流	礮坑	溪泉	山壑	溝渠
同	同	同	同	同	同	同	同

民部省

飛禽	野獸	家畜	驛遞	戶籍	人口	古跡	名所
同	同	總種	同	同	同	同	同

民部省

寺院	神社	諸院	學校	民俗	船數	兵負	礮銃
同	同	同	同	同	同	同	總數

兵部省

魚鱗	同
虫類	同
植物	同
物産	總數
歳入	總額
歳出	同

何國

何海道ノ一部

一國

ノ地系ヲ挿入スヘシ

幅員廣狹

ニ至ルマテ詳載明述シ其他山岳河流ノ

多少平原曠野ノ有無ヲモ記スヘシ

地質

瘠土沃壤ノ異同田圃乾湿ノ庭運麥

ニ宜シク稻ニ宜シカラス以テ瓦ヲ製スヘク

陶ヲ鑄ルヘカラサル等ノ如キ審悉論述

スヘシ

魚鱗	同
虫類	同
植物	同
物産	總數
歳入	總額
歳出	同

河每道ノ一部

地勢

一 國ノ地勢ノ詳ハ此ノ如クニ記スヘシ
壤土ノ平遠高低ヨリ位置方向幅負廣狹

ニ至ルマテ詳載明述シ其他山岳河流ノ

多少平原曠野ノ有無ヲモ記スヘシ

地質

瘠土沃壤ノ異同田圃乾湿ノ庭違麥

ニ宜シク稻ニ宜シカラス以テ瓦ヲ製スヘク

陶ヲ鑄ルヘカラサル等ノ如キ審悉論述

スヘシ

度數

東經何度何分ニ起リテ西經何度ニ至テ止ニ北緯何度何分ニ起リテ南緯何度何分ニ至テ止ムト各處ノ度數ヲ測量
詳記スヘシ

周圍

四境ノ形體ニ從テ地勢ノ凹凸海灣ノ伸縮ヲ測量シ其里數ヲ記スヘシ

直徑

左右前後廣袤幅員ヲ測リ東西幾里南北幾里ト記スヘシ

境界

四鄰接壤ノ際山岳河流ヲ以テ分ツアリ或ハ田隴森林鄉村ヲ以テ分ツアリ其記載條理分明ナランヲ要ス

郡村

郡名村名及ヒ其總數ヲ記シ其他某村ハ某郡ニ屬シ某郡ハ某藩某縣ニ屬スト其管轄ヲ受ル所ヲ記シ且毎村戸口ノ數收納ノ高ヲモ其類ヲ分テ附記スヘシ

藩縣

藩縣ノ名称及ヒ其數其高ヲ記シ所屬ノ州郡市街村閭ノ名号ヲ揭示シ且藩ノ大中小ヲ注分シ管轄知藩ノ姓氏ヲモ詳記スヘシ

城郭

郭内ノ廣狹壁壘ノ高低及ヒ溝池ノ幅負深淺ヨリ其他基立創築ノ年代人名現今主者ノ姓氏ニ至ルマテ尽ク記載シ且山壑ノ險ニ據テ築キ河海ノ

市街

利ヲ控ヘテ建ルノ製様ヲ記シ陣屋ノ如キモ亦右ノ條件ニ倣ヒ詳述附記スヘシ
市名町名及ヒ街區ノ位置方向ヲ記シ町數ヲ以テ總算スルハ其數幾許ト記シ且戸口ノ繁富稀疎公廨私邸ノ所在ヨリ其他商賈ノ大小工匠ノ多寡器用玩具ノ肆酒食工織ノ家疎密多少ノ

如キモ精細記スヘシ

林園

所在ノ地及ヒ主者ノ名ヲ記シ松林杉林或雜木林茶園桑園其他花塙竹林等ニ至ルマテ類ヲ分テテ詳記スヘシ

原野

方向廣袤ヲ測リ東西幾里南北幾里ト記シ且艸木ノ疎密藪澤ノ有無ヲモ記スヘシ

牧場

土地ノ廣狹草芽ノ剛柔ヨリ生産駒馬ノ

種類駿健肥瘦大小優劣ニ至ルマテ詳論

スヘシ

田圃

第一ニ上田中田下田ト優劣ヲ論説シ次ニ岡田水田及田隴ノ高汙ヲ述ヘ且肥瘠ノ等乾湿ノ類ヲ分テ枚舉揭示シ又之ヲ總算シテ全數ヲ括記シ其他管轄村郡ノ名号收納ノ多寡及ヒ四公六民或ハ五公五民ノ如キ納稅ノ法ヲモ詳記ス

ヘシ圃ヲ記載スルニ至テモ亦概畧以上ニ同

溝渠

幅負廣狹ヲ記シ深淺長短ヲ記シ且市

街ヲ環瀦シ汙穢ヲ疏通シ洩リテ田畝

ニ灌キ激シテ水車ヲ轉ヌ其所用ヲモ

尺ク記スヘシ

山岳

山勢ノ險易高低脉絡ノ連絶起伏ヲ述

ヘ草木ノ美惡禽獸ノ種類其他一切所産

ノ物只ヲ詳記シ或ハ峻嶺高岳四時氷

雪互結シ或ハ火山ノ煙塵蒸騰シ沙石

焚燒スル如キモ亦茲ニ附記スヘシ

溪泉

崖巖ノ形状幅負ノ廣狹ヨリ其他所

産草木虫魚ノ種類ヲ記シ且激シテ奔

湍トナリ瀦シテ湖池トナリ落テ瀑布

トナリ流テ江河ニ注ク如キ其濫流未ノ

水絡ヲ詳説スヘシ

礦坑

金脉礦條ヲ叙シ金銀銅鍍及ヒ水晶硫
黃石炭砥礪ノ類凡礦中ヨリ出ルモノ多
寡品類ヲ記シ又宜シク他境ト其品種優
劣ヲ比較詳論スヘシ

江河

水勢ノ緩急幅負ノ廣狹ヨリ其他河脉
水路枝流分派春漲秋潦ノ度ニ至ルマテ
記載シ且四時流水洋溢スルモノ或ハ春
冬枯涸凍結スルモノ源泉ノ澗壑ニ出ル

湖池

未流ノ海灣ニ注ク精細分明ニ記スヘシ
廣袤ノ大小水底ノ深淺ヲ記シ灌溉ニ
便ニシテ漁獵ニ宜シカラス水潦ノ害アリテ
舟楫ノ利ナキ等ヲモ尽ク記スヘシ

沼澤

泥土ノ深淺蘆荻ノ繁疎及ヒ廣狹位置
ヲ記シ且拓ヒテ田畝トナス可ク鑿テ舟
楫ヲ通ス可キ檢覈詳論スヘシ

橋梁

鐵橋石橋土橋板橋トモニ幅負長短ヲ

記シ修補造營ノ管スル所ヲ記シ且創
架ノ年代所以ヲモ記スヘシ

渡場

海灣ヲ横絶シ或江河ヲ乱流又急流
駛水ニ至テハ人背ニ倚テ渡スモノアリ之ヲ
別記シ渡津ノ長短賃錢ノ多寡渡船
ノ艘數ヲ記シ且公許ニ出ルモノ私便ニ
由ルモノモ亦區別詳載スヘシ

堤塘

廣狹長短高低逶迤曲折ノ形狀ヲ記

島嶼

シ其他水衝ノ厚薄崩潰ノ多少及ヒ創
築ノ年代脩補ノ管者等ヲモ記スヘシ
土壤ノ肥磽位置ノ方向ヲ記シ廣袤幾里
周圍幾里ト記シ其他民口戸籍田隴草
木ノ有無ヨリ土地ノ物産所屬ノ郡名及
ヒ海上距離水路遠近ニ至ルマテ盡ク記ス
ヘシ

沙洲

廣狹ヲ記シ泥沙ノ異同ヲ記シ耕種ニ

港灣

是テ居住ニ足ラサル等ヲモ記載スヘシ
 第一ニ廣狹大小ヲ記シ次ニ風波ノ險易湖
 水ノ淺深暗礁ノ所在有無ヲ記シ且碇泊
 ニ便ニシテ魚塩ノ利ニ乏シキ出港ニ易ク入
 津ニ難キヲ詳悉記載シ港口ノ定船出
 入舟舶ノ概數ヲ記シ此港ヨリ彼港ニ至リ
 彼港ヨリ此港ニ來ル陸路ノ距離水程ノ
 里數ヲモ記スヘシ

埔頭

開港互市ノ由テ起ル所以ヲ説キ其年
 代ヲ記シ運上所ノ所在ヲ記シ且海外土
 商ノ多少居留地所ノ位置及ヒ坪數ヲ記
 シ且其地ノ管轄ヨリ邦民居住ノ多少
 肆店ノ疎密外邦舟舶出入ノ概數ニ至ル
 マテ尽ク記スヘシ

輸入

國內他邦ヨリ輸送ノ物品何々海外
 異邦ヨリ輸送ノ物品何々ト其類ヲ分テ

其數ヲ記シ一歳ノ全數詳悉ニ至テ別
ニ之ヲ表出スヘシ

輸出

其記載以上ニ説ク所ト同一ニシテ只出入ノ
別アルノミ

礮數

所有ノ門數ヲ總計シ且大小種類ヲ注分
シ記スヘシ

船數

艘數ヲ總算シ又之ヲ分テ軍艦幾艘西洋
形帆前船幾艘日本形帆前船幾艘荷船

兵員

幾艘獵船幾艘ト記スヘシ

騎兵幾隊歩卒幾隊ト記シ之ヲ總メ其全
數ヲ記シ且某隊ハ某所ニ屬シ某隊ハ某所
ニ備フ等ヲモ記スヘシ

民俗

民庶ノ好尚衣服ノ制様氣質ノ剛柔身體
ノ健軟才能ノ敏鈍技藝ノ工拙其他冠婚
葬祭ノ式祝賀哀弔ノ風ニ至ルマテ詳悉
記載スヘシ

學校

大小ヲ記シ教ル所ノ學術皇漢洋ヲ分
記シ且校中ノ規則教官ノ員生徒ノ數
ヲモ其概畧ヲ揭示スヘシ

諸院

病院貧院製鍊所返射爐ノ如キ諸院
製造所ノ大小廣狹等ヲ記スヘシ

神社

祭神ノ稱号宮社ノ大小社領ノ有無神職
ノ姓氏ヲ記シ且

勅祭ニ係ルモノ或ハ准スルモノ或ハ然ラサ

ルモノ及ヒ創基ノ年代祭祀ノ月日式禮
等ニ至ルマテ尽ク記スヘシ

寺院

宗門ノ流派僧尼ノ多寡ヲ記シ且境内
ノ廣狹架欄ノ大小開基ノ年代寺領ノ有
無所蔵ノ什宝ヲモ記スヘシ

名所

山水ノ美江海ノ景幽泉怪石花塢柳塘
ノ如キ古歌ニ吟詠シ人口ニ膾炙シ他邦ニ
傳聞スルハ尽ク記スヘシ

古跡

城墟瘞寺遺碑殘趾古戰場及ヒ古代賢哲英雄墳墓ノ如キ其來歴ヲ詳記スル亦前條名所ノ体裁ニ倣フヘシ

人口

第一全數ヲ揭示シ次ニ本仮ヲ區別シ又男女及ヒ士農工商ヲ注分シ傍ラ老老幼稚ヲモ區別附記スヘシ其生死存耗増減ノ數ニ至テハ每歲別ニ表出シテ巨細分明ナルヘシ

戶籍

全數ヲ揭示シ又公廨官舎及ヒ華士卒族

ノ邸第ヨリ商農工職ノ家屋ニ至ルマテ分別分記シ且市街ニ屬スモノ村閭ニ屬スモノ其數其所在ヲ詳記スヘシ

驛遞

驛路ノ長短驛内ノ景況ヲ述ヘ且前驛後驛ノ距離人足賃錢ノ多寡ヨリ其他驛遞ニ關係スル所ノ事實一切記スヘシ

家畜

雞鶩狗豚牛馬ノ如キ人戸ニ牧畜スルモノ其類ヲ分記スヘシ且食料ニ充ツヘキ或耕

挽車ニ用ユルニ牛犢ヲ以テシ馬ヲ以テシ
土俗ノ慣習所用一ナラス亦宜シク記載
スヘシ

野獸

熊猪兎猿ノ如キ幽谷深林ニ生育シ人家ニ
畜牧ス可カラサルモノ其種類ヲ記シ且
凡牙毛草需用ニ供スヘキモノ宜ク其美
惡ヲ論說スヘシ

飛禽

鴻雁雉雀ノ如キ山林ニ栖食シ江湖ニ浮

浴スルモノ其種類ヲ枚挙シ及ヒ羽毛皮肉
ノ器料ニ充ヘキ食用ニ供スヘキモノ其美惡
ヲ論述スヘシ

魚鱗

河海ニ生育スルモノ湖池ニ游泳スルモノ其
名目ヲ記シ且漁夫蠶婦漁獲ノ利益厚
薄ヲ論述スヘシ

虫類

甲虫飛虫匍匐虫及ヒ脚魚鼈螯ノ如キ
藥品ト為スヘキ者食用ニ充ツヘキ者尽ク

記載スヘシ

植物

水草陸卉ノ種類ヲ記シ稻粱蔬菜ノ食
糧ニ供シ松竹杉檜ノ築造ニ充ツヘキ者鄰
土他邦ト其美惡ヲ比較論述スヘシ

但禽獸虫魚草木ノ種ヲ異ニシ形ヲ殊ニシ

文辭詳論細述シ難キ者アリ宜シク圖画ヲ

挿入シ花葉果實ノ生熟羽脚角齒ノ異

同ヲレテ彩出明了ニ画成セントス

物産

蠶卵紙蠶絲ヨリ其他酒漿紙茶菓餅織
物漆器陶瓦器等ニ至ルマテ其土地ニ産シ
民工ニ成ル者一切枚舉揭示スヘシ

歳入

第一一歳ノ全数ヲ揭示シ次ニ田圃ノ収
納幾許港口埔頭ノ稅幾許市街地稅
及ヒ酒稅幾許ヲ記シ其他一切ノ稅額ヲ
分テ之レヲ陳述スヘシト雖比年ノ増減ナ
キ能ハス故ニ毎歳別ニ其額ヲ表出スヘシ

歳出

第一歳ノ出費ヲ記シ次ニ海陸ノ軍費
官省ノ費用幾許土木ノ費用幾許ト
其總額ヲ分チ之レヲ記スヘシ且年々増減
ノ如キハ歳入ト均シク別ニ表出スヘシ

總論

往昔

先王西隅ニ崛起シ東國ヲ征シテ擣風
沐雨荆棘ヲ芟刈シ焦心苦慮奸賊ヲ殄
滅シ邦境始メヲ開キ疆土基ヲ置キシ

以來大權漸ク武門ニ移リ羣雄割據
シ或ハ霸府ノ領属トナリ或ハ

先王ノ畿田トナリ村閭ノ城郭ニ變スル
田隴ノ市街ニ革スル前後ノ名目ヲ以テ一
州ヲ割キ一郡トシテ繼テ後代侯伯ノ
封土倍臣ノ所有トナル天運再而循環
皇政古ニ復シ萬民維新ヲ仰キ人臣ノ私有
廢止スルニ至ル其間二千餘年ノ久ヲ歴タリ

考古ノ憑據トナシ後世ノ鑑戒ニ備フヘキ
モノ少シトセス故ニ一國ヲ誌スルコトニ必沿革ノ
事迹ヲ精述シ衰遷ノ来由ヲ詳論シ以テ看者
ヲシテ明了ナラシムヘシ

